

令和7年度「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」の取組状況について

1 趣旨・目的

2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指して、令和3年6月に設立した「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」*の令和7年度の取組状況について報告する。

*製造・流通・消費に関する企業・団体・市町等 計153者で構成 (R8.5.19時点)

2 現状・背景

GSHIPでは、①プラスチックの使用量削減、②プラスチックごみの流出防止、③清掃回収、④情報発信の4つのワーキンググループを設置し、参画会員と連携・協力しながら、取組を検討・実施している。

3 概要

(1) プラスチック使用量削減の取組

ア 社会実装化促進事業 (ACTION FOR ZERO)

ワンウェイプラスチックの使用量削減に資するプラスチック代替製品等(紙等への素材転換など)の社会実装を促進するため、令和7年度から新たに、宮島・宮島口をモデル地区として、飲食店及び宿泊施設を中心に、プラスチック代替製品等を導入する事業者の拡大と県民等の利用機会の創出を進めるとともに、取組の認知拡大に向けた情報発信を行った。

<導入したプラスチック代替製品>



アルミボトル缶



生分解性素材のカップ・ホテルアメニティ



<情報発信>



キービジュアル



メインポスター (店頭や電車の中刷り)

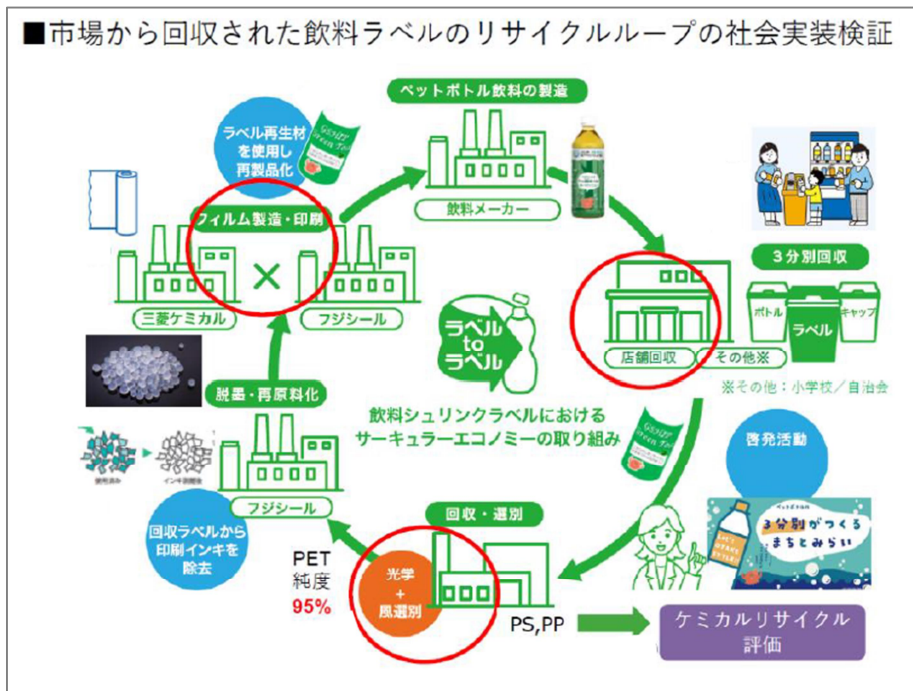


ローンチイベント

イ リーディングプロジェクト支援補助金

令和4年度から生活由来の海洋プラスチックごみ対策に資する先進的な取組を行う企業等へ支援を行っており、令和7年度は1件の事業を採択し、取組を実施した。

連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
<p>三菱ケミカル(株) 大竹市、府中町、(株)フジシール、(株)高山商会、(一社)全国清涼飲料連合会、(株)マルシン、(株)イズミ、マツダ(株)、(株)ダイセル 等</p> <p>※下線：代表事業者</p>	<p>【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大竹市内の小売店等においてラベルを店頭回収 自動販売機脇排出由来ラベルの選別工程への接続検討 ラベルの素材選別精度について、経済合理性を勘案した条件設計を検討 脱墨困難なポリスチレン及びポリプロピレン製のラベルについて、ケミカルリサイクルの実現可能性評価を実施 大竹市内の小学校や府中町公共施設において、ペットボトルの3分別回収やリサイクルに係る出前授業を展開



①店舗回収（+事業所）

イズミ様2店舗他※で回収

3か月間で
115kg
を回収

※マツダ様、ダイセル様、大竹市庁舎、府中町施設、大竹市立小学校3校

②自販機脇排出型回収

ボール解砕方法検討

設備による
解砕効果を
確認

③選別純度の検証

純度95%目標とした最適化検討

↑ 異物調査 ↓

目標95%を上回る
98%の制度を確認

④脱墨技術の向上

✗

PSラベル、PPラベル
脱墨方法見いだせず

⑤フィルム化技術検証

今年度回収ラベル由来
原料で製膜済
⇒製品規格の範囲内と
確認

⑥ラベル化技術検証

⑤のフィルムにて
ラベル化完了
⇒製品規格の範囲内と
確認

⑦脱墨不可品活用検討

ケミカルリサイクル
接続評価検討

- PS：評価済み
- ⇒PET4%混入でNG
(高い選別精度必要)
- PP：評価済み
- ⇒印刷成分由来残渣多く
現時点では**困難**

⑧3分別啓発

8月：府中町

9月：大竹市小学校
3月：大竹市小学校

出典：三菱ケミカル(株)

(2) 流出防止の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7. 9～ R7. 12	環境省、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、(株)サンフレッチェ広島 等	○ペットボトルの3分別回収に係る消費者の理解と行動変容を促すため、スポーツチーム等と連携し、スタジアムを基点とした啓発キャンペーンを実施するとともに、分別状況の変化などを検証



スタジアム内の啓発パネル



スタジアム内の分別BOX



試合日の啓発イベント

(3) 清掃回収の取組

ア 清掃活動

実施時期	主な取組内容（概略）
R7. 7. 5	○広島・岡山・愛媛・香川の4県各地において、同日同時間帯に一斉清掃を開催 ○広島は、江田島市の海岸において、GSHIP 参画会員と連携した清掃を実施【瀬戸内オーシャンズX連携事業】
R7. 11. 1 R7. 11. 2	○GSHIP参画会員等と連携した海岸清掃を実施 ・廿日市市 宮島 大江浦海岸 (11. 1) : GSHIP会員3社・団体、20名参加 ・江田島市 三高港周辺 (11. 2) : GSHIP会員4社・団体、50名参加
R7. 11. 15	○厳島神社の周辺海岸において、(株)伊藤園の主催による海岸清掃を実施
R7. 11. 22	○広島市中心部で開催された「ひろしま川祭り」において、「海へつながる“RiverDo”」をテーマに川辺の清掃活動を実施
R7. 3～ R8. 2	○釣り人をターゲットとした海ごみ回収促進事業の実施（海底・海岸清掃、海ごみ写真のオンライン投稿による海ごみの種別・数量等の解析 等）【瀬戸内オーシャンズX連携事業】

【参考】GSHIP 参画会員等と連携した海岸清掃の様子



大江浦海岸 (11.1)

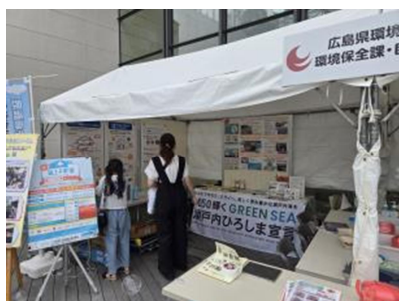


三高港周辺海岸 (11.2)

(4) 情報発信の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7. 6. 21	日榮新化(株)、(株)そごう・西武 そごう広島店 等	○「環境の日ひろしま大会」に、GSHIPキャラクタータコひめの帽子工作や海ごみ学習ブースを出展
R7. 6. 17 ～6. 29	(株)そごう・西武 そごう広島店、(株)カネカ、(株)ヤマサキ 等	○そごう広島店で開催された、広島の問題を一緒に考え未来につなぐ企画「海と山の恵」において、プラスチックの使用量削減に係る取組、GSHIP 参画会員の取組等を紹介
R7. 7. 1 ～7. 2	環境省	○広島県で開催された、第6回日中海洋ごみ専門家プラットフォーム会合及び日中海洋ごみワークショップにおいて、本県の取組紹介や現地視察を実施
R7. 9. 24 ～	サッポロビール(株)、(株)中国放送、瀬戸内オーシャンズX	○瀬戸内海の海洋ごみ削減に向けた機運醸成及び意識啓発を目的とする、サッポロ生ビール黒ラベル「瀬戸内海環境保全応援缶（第3弾）」の展開
R7. 10. 25	環境省	○大阪・関西万博のサーキュラーエコノミー研究所ブースにおいて取組発表とトークセッションを実施
R7. 10. 24	(株)セブン-イレブン・ジャパン	○呉市立横路中学校において出前授業を実施
R8. 1. 13	環境省	○中国四国地方の資源循環自治体フォーラムにおいて GSHIP の取組等を紹介

【参考】「環境の日」ひろしま大会での啓発の様子



海ごみ学習コーナー



繰り返し使える黒板シートを使ったぬり絵体験



GSHIP イメージキャラクターを模した帽子工作体験

4 今後の対応

- プラスチックの使用量削減に繋がるリーディングプロジェクトの創出やプラスチックごみの流出防止、清掃活動、情報発信の取組について、引き続き、国・市町・企業等と連携しながら、着実に実施していく。
- また、更なる取組の拡大に向けて、令和7年度から新たに開始した社会実装化促進事業については、地元の市や関係団体等との連携の下、GSHIP 参画会員と協力し、宮島・宮島口地区において代替素材製品への転換及び情報発信の取組を継続して、事業者の取組拡大と県民の意識醸成に繋げていく。また、県内の他地域へ取組を拡大していくために次期モデル地区の選定を併せて進める。